

ウェルス・マネジメント株式会社  
2023年3月期 第3四半期  
決算発表後の質疑応答集

当社の 2023年3月期 第3四半期決算発表以降に株主、投資家の皆様などからいただいた、お問い合わせの内容と回答について、以下の通りお知らせいたします。

なお、本開示は、市場参加者のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものです。また、当社ホームページの「Investors Question」でも掲載しております。

**Q: 通期業績の達成見込みについて、4Qに案件のクロージングが集中するとのことでしたが、具体的には、どれ位の規模の案件で数字を達成されるのでしょうか？**

**A: 現在、複数の案件がクロージングに向けて動いており、決定次第、3月末までに適宜開示予定です。**

また、案件の規模感については、今期目標の取扱高600億のうち既に100億を達成しておりますが、3月末までに残りの取扱高500億を達成する予定です。

来期に向けても目標取扱高1,000億の達成と新規プロジェクトによる更なる上積みを狙って鋭意作業中であります。

**Q: 先月開示されました伊勢志摩の開発プロジェクトについて、今後のスケジュールを教えてください。**

**A: 本案件は、非常に多くのグローバルホテルブランドからお声がけを頂いております。その中から、当社の考えと合うブランド数社に絞り、選定を進めております。**

お話を頂いているオペレーターのブランドを想定して3月末迄に開発SPC(特別目的会社)の資金調達を行い当社より、その開発SPCへ売却を予定しております。

**Q: 来期は、中期経営計画2024の最終年度となります。来期の見込み、中計進捗について教えてください。**

**A: 来期は、J-REIT上場を果たし、新たなファンド組成の一環としてブロックチェーン技術を活用したセキュリティトークン(による不動産のデジタル証券化)などの新しい取り組みも始める予定です。**

**Q:**ホテル運営事業の状況と今後の見込みについて教えてください。

**A:**第3Qにつきましては10～12月のインバウンドによる訪日外客数は延べ約280万人となり、特に訪日外客数が137万人に達した12月には対前年同期比で約110倍となりました。

当セグメントも11月より黒字転換を果たし、第4Qについても現在のところ順調に推移しており、通期の累計損失を一掃できる可能性が出て参りました。

以上

株主・投資家の皆様とのコミュニケーションページ「Investor Questions—IR 担当者がお答えします」を開設しております。皆様の関心が高いと考えられるIR関連情報を Q&A 形式でご紹介しております。

〈QRコード〉



<https://www.wealth-mngt.com/ir/communication/index.html>